

新しい年を迎えて



飛鳥村長  
久野 時 男

あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年には、平昌五輪での日本人選手の活躍やノーベル生理学・医学賞の受賞に日本中が沸く一方で、大阪府北部や北海道胆振地方において地震が発生し、多くの尊い命が失われました。加えて台風等の災害も発生し、甚大な被害をもたらしました。被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げ、一日も早い復興、復旧を心から祈念するとともに、改めて災害に強いむらづくりへの必要性を痛感いたしました。

本村では、平成25年度から一時避難所・拠点避難所の整備を進め、昨年3月には服岡一時避難所が完成しました。南海トラフ巨大地震等の災害から皆様の生命と財産を

守り、安心して住み続けていただけるよう、今後も引き続き防災・減災対策に取り組んでまいります。

また、本村では、これまでも安全・安心なむらづくりのため、防犯対策補助、防犯パトロール等に取り組んでまいりました。しかしながら、本村の犯罪発生率は愛知県の平均を上回っており、さらに犯罪を抑制する必要があります。そこで、皆様がお住まいの地域全体に広域的かつネットワークによる防犯カメラを設置することで、犯罪抑止力の向上を図り、皆様により一層安全・安心に過ごすことのできるむらづくりに取り組んでまいります。

さらに、飛鳥村の新たな魅力を発掘し、より多くの方にこの村を訪れていただきたいとの願いから、昨年4月に飛鳥村観光交流協会を発足し、村の魅力創造、情報発信に取り組んでおります。

皆様にとって、わがむらをさらに誇れる故郷とするため、誠心誠意全力を尽くしてまいりますので、今後とも皆様方のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、本年も皆

様方のご繁栄とご多幸を祈念し、年頭のご挨拶といたします。

平成31年 元旦

新春を迎えて



愛知県知事  
大村 秀 章

あけましておめでとうございます。昨年は、2022年度のオープンを目指すジブリパークの基本デザインを発表し、夢の実現に大きく前進した年でした。また、2026年アジア競技大会の開催都市契約を締結し、開催に向けた準備が加速した年でもありました。

そして、2027年度のリニューアルに向け、大交流圏の拠点として、道路ネットワークの充実など、愛知のポテンシャルを一層高めてきた1年でした。

時代は今、グローバル化とデジタル化の大きなうねりの中にあります。そうした変革期においても、愛知は、日本の成長エンジンとして、我が国の発展をリードし続け

ていく存在でなければなりません。今年も、次世代自動車や航空宇宙、ロボットを始め、ICTやAIなどのデジタル分野まで、幅広く産業集積を進めるとともに、スタートアップ支援に戦略的に取り組むことで、世界一の産業の革新・創造拠点を目指してまいります。

また、9月に開業する愛知県国際展示場を核とした国際観光都市の実現に取り組むとともに、幅広い分野でグローバル化を進め、愛知のプレゼンスをより一層高めてまいります。

そして、社会インフラの整備、農林水産業の振興、女性の活躍、医療・福祉、教育・人づくり、環境、防災、東三河地域の振興にも力を注いでまいります。

今年も、全国植樹祭やあいちトリエンナーレ、ラグビーワールドカップ、技能五輪全国大会・全国アピリンピック、G20外務大臣会合を開催します。しっかりと準備を進め、大いに盛り上げてまいります。

引き続き、「日本一元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成31年 元旦